

岩手医科大学附属病院高度看護研修センター
緩和ケア認定看護師教育課程



ようこそ
受験相談会へ





これから受験を考えている方へ 1期生からのメッセージ

認定看護師に興味があったり、やってみたいと思うが
いろいろ大変そうと感じて踏み切れないでいる方、
ぜひやってみることをお勧めします。
確かに実習やレポートなどもあり楽ではありませんが、
働きながらやるわけではないので
「意外とやれるもの」と、
実際にやってみて感じました。
自分ひとりでやるわけではないので大丈夫です！
少しの間、現場から離れて外から
自分の仕事や周りのスタッフを見るのもいいものです。
新しい発見や、不明確になっていた
自分がしたいことなどをもう一度考えたり、
気付いたりすることができると思います。





これから受験を考えている方へ 1期生からのメッセージ

様々な理由で、受験を迷っている方や悩んでいる方がいらっしゃると思います。私もそうでした。目指すことは誰のためでもなく、自分のためです。自分の緩和ケア認定看護師を目指したいという動機に、情熱があることが一番大切だと私は思います。一緒に緩和ケアを広めていける人が一人でも多く増えることを心から願っています。

緩和ケアの神髄は、看護の原点であり、私たちの看護には不可欠な知識だと思っています。研修には困難もたくさんありますが、素敵な出会いもたくさんあります。この経験は、一生の宝物になるはずです！ぜひ一緒に学んでみませんか？





これから受験を考えている方へ 1期生からのメッセージ

初めはレポートが多くて大変でしたが、今までの自分の看護を振り返りこれからの看護を考えることや、自分の考えを言語化し人に伝えるためのスキルを身につけるために、私にとってこの研修は必要だったと思います。

実習は、看護過程などの記録が大変でしたが、認定看護師としての役割やスタッフとの関係性を学ぶよい機会となり、今しかできない貴重な時間でした。

患者さん、ご家族の思いに寄り添いたいと願う仲間と教育課程の先生方の励ましに支えられて頑張ることができました。

教育課程は、緩和ケアの知識・技術だけではなく人とのつながり、仲間づくりの時間であると思います。

努力は自分の財産になります。

今の時間を楽しんで緩和ケアを学んでほしいと思います。





これから受験を考えている方へ 1期生からのメッセージ

東北に開講ということで、
東北6県の同じ志の仲間と出会うことができ、
親近感もあり楽しく研修を受けることができました。
8か月間という長いようで、短かった研修でした。
講義や臨地実習を通して、私たちが何気なく過ごしている
1日がとても貴重な時間であることを、
身をもって知ることができました。
この研修で、患者・家族だけでなく、
自分の人生も見つめ直すことができたように思います。
また、著名な講師陣より貴重な講義を受けることができ、
とても素晴らしい経験をすることができました。
緩和ケアへの魅力が一層引き出されました。
辛いこともたくさんありました。
しかし、同じ志の仲間同士で助け合って、乗り切ることが
できました。仲間の素晴らしさと、人とのつながりの素晴
らしさをあらためて実感できました。





これから受験を考えている方へ 1期生からのメッセージ

8か月の研修期間は、贅沢な時間と快適な環境下で緩和ケアを学ぶことができました。今の自分が存在するのは、協力してくれた家族と先生方のご指導、研修生の支えがあったからだと痛感しています。これまで学んだことを、自施設のスタッフに伝達すると共に地域や臨床現場において、看護の底上げに力を注ぎたいと思います。



私は長い間緩和ケアというものに興味がありましたが、なかなか行動を起こすことができませんでした。少しずつ勉強会に参加するなどしていたところ、先輩に声をかけていただき、この教育課程を受けることを決めました。受講してみて、日ごろジレンマと感じていたことや、心に残る患者さんとのエピソードについてその原因がわかり、これからどうすればいいのかを学ぶことができました。そして、このままの自分でよいのかとモヤモヤしていた気持ちから、はっきりとした目標をもつことができました。

